

平成22年12月 第15回教育委員会 議事録

開催日時 平成22年12月20日(月)
 午後1時30分～午後3時16分
 開催場所 南部町役場天満庁舎2階会議室
 出席委員 矢吹委員長・毎川委員・野口委員・細田委員・永江教育長
 説明員 稲田教育次長・野口学校教育専門員
 書記 新井 人権・社会教育室長(事務局)

	【開会 午後1時30分】
	【1. 互礼・開会】
	【2. あいさつ】
委員長	開会挨拶
	【3. 会期の決定】
委員長	会期を午後4時30分までとする。
	【4. 非公開案件の決定】
委員長	非公開案件の決定。6.専決処分 8.報告Ⅱ 11.協議Ⅱと決定する。
	【5. 報告Ⅰ】
教育長	1)教育長月例報告 行事・事業について 会議案資料1頁により報告
	・11月26日 市町村教育長会
	教職員人事について、郡市間の交流がないなどの課題がこれまで先送りになっていた。
	これらを課題解決するための会を初めてもった。
	・12月8日 就学指導委員会において本町の事案は全てクリアした。
次長	2)12月定例議会教育委員会関係一般質問答弁について
	会議案資料1～11頁により報告
	3)12月校長会(12/2開催)の概要について 会議案資料12頁により報告
	4)～小中一貫教育をみすえた～コミュニティスクール研究協議会について
	会議案資料13から16頁により報告
	5)県教職員組合西部支部南部部会要望書について 会議案資料17～18頁により報告
教育長	補足する。教職員組合からは教育の日の「学びいウオーク」が2年間雨で中止になった
	ことについて、気候が不安定な時期にあえて外のイベントを組むのはおかしいとの指摘
	があった。学校の一斉公開に替えてはどうかと思うが委員の皆さんの意見を聞きたい。
委員長	後の、協議Ⅰで議題とする。
	6)その他 何かあるか。
次長	鳥インフルエンザのについて、昨日から鳥のいる学校に立ち入り検査が始まった。会見
	第二小はカモがいるので、外の鳥との接触がないようにとの指示が県教委からあった。
委員長	報告Ⅰの1)～6)について、質問はあるか。
委員	小中一貫教育について、「一貫校」と「一貫教育」の違いについて町民の皆さんにも説明
	しているがなかなか理解されない。議会での質問を見ると議員にも理解されていないよう
	に思った。議会の答弁書で丁寧に説明されているので良かったと思った。
教育長	一貫校と一貫教育の違いについて、議員は概ね理解できていると思う。一貫教育のカリ

	キュラムの第1次思案については24年度実施と言うことで言い切った。明日の校長会にも表明し指示する。
委員	文化芸術の推進について質問が出たことはありがたいと思った。
委員	コミュニティースクールの研究協議会に委員がメンバーになっているのはどういう経緯か。
委員	メンバーではなく傍聴しただけである。
委員長	教育委員が入るのは、当事者としてはやりにくかったのではないか。
委員	本当は入るべきではなかったかもしれないが、やりづらいと言うことはなかったと思う。腹を割った話し合いが行われていた。
委員	委員が傍聴であったことは了解した。教職員組合との協議についてだが、「学びいウオーク」の件は別として、同じ方向に向かってもっと前向きな話し合いをしてほしかった。
教育長	教職員と直接話ができるチャンスなので、私の方からは思いを語らせてもらった。
	【6. 専決処分】 非公開
	【7. 議事 I】
委員長	議案第30号「南部町教育委員会委員長の選挙」について 提案をお願いします。
次長	会議案2頁により提案
委員	指名推薦で矢吹委員長に引き続きお願いしたい。
他の委員	異議なし。
委員長	次に、議案第31号「南部町教育委員会委員長職務代行者の指定」について
次長	会議案3頁により提案
委員長	職務代行者は毎川委員に引き続きお願いしたいと思うがどうか。
他の委員	異議なし。
委員長	議案第32号「南部町立図書館運営規則の改正」について提案をお願いします。
次長	会議案資料19～23頁に基づき提案
委員	カードは新しくなるのか。両館とも月曜日を休館とするのは将来的には考えるべきではないか。
教育長	1年間様子を見ながら、開館時間の問題も含め考えていきたい。
委員長	この問題は将来にわたって研究、改善していくと言うことで承認してよいか。
委員	異議なし。
委員長	承認とする。次に議案第33号「南部町公民館規則の改正」について
次長	会議案資料24～25頁に基づき提案
委員	休館日が削除されているが、休館日はなくなるのか。
次長	図書館を併設しているので、休館日はなくなる。
委員長	他になければ承認してよいか。
委員	異議なし。
委員長	承認とする。次に議案第34号「南部町図書館整備計画」について
次長	別冊資料に基づき提案
委員	郷土資料コーナーは天萬だけか。
次長	コーナーは両館にあるが、収集は天萬で行うと言う意味である。
委員長	「天萬」と「法勝寺」は漢字に統一するのか。

次長	条例上漢字になったので、漢字に統一する。
委員	図書館内に死角ができていると思う。子どもたちのいじめの温床にならないよう 防犯対策や、見回りが必要ではないかと思う。
次長	図書館の勤務を必ず複数体制で行うこととしている。それで対応したい。
委員	「複合施設のメリットを活かす」とあるが、みんなが行きたいと思えるようなPRと、複合施設であると言うことを大事に考えてもらいたい。
委員長	郷土資料の収集という中に、退職校長会から記念誌等を寄贈してもらい、教育関係資料の保存につとめてもらいたい。
委員	教育関係のみならず、様々なものの寄贈を募ってはどうか。
教育長	教育資料については校長会と連携してぜひ取り組みたい。総合施設としては、これまで図書館と公民館は「違うもの」であり、区別化することでメリットがあった。しかし今後は、「違うもの」と「違うもの」をくっつけあって、新しい化学反応がおこるような発信をしていきたい。
委員長	他になければ承認してよいか。
委員	異議なし。
委員長	承認とする。
	【8. 報告Ⅱ】 非公開
	【9. 議事Ⅱ】 なし
	【10. 協議Ⅰ】
委員長	1) 委員提案、報告 はじめに委員より報告をお願いします。
委員	研修レポート「出会いに吉あり」、参観日・私の視点、町独自のイベントで活性化を！ 会議案資料26～30頁により報告
委員長	次に、委員より報告をお願いします。
委員	教育委員会視察研修 会議案資料31頁により報告
委員	私も視察研修に参加したが、姫路市の小・中一貫教育はあまりにも立派で、一貫校と言ってもいいような一貫教育だと思った。特に施設の共有化というやり方には非常に感心した。コミュニティスクールもこれが基盤になるようであれば、中学校区単位で一緒にやるべきだという委員の提案には同感である。法勝寺中学校における西川先生の講演会はタイムリーであった。目的と手段を整理すべきというお話は参加者にもわかりやすかったのではないか。
委員長	西川先生の講演によって、学校の先生方のコミュニティスクールに対する認識が深まって来ているのを感じる。私自身もコミュニティスクールと一貫教育のどちらを先にやるべきかと思っていたが、同時並行でやるべきだと思うようになった。小・中学校が同じ方向を向いてやるのが大事だと思う。
教育長	委員長が言われるようになれば良いが楽観視はできない。コミュニティスクールを基盤とした小・中一貫教育となれば特区になる。10年後には中学生の数が300人を切るということも視野に入れ、それらの問題をうまくからませながら論議していかなければならない。
委員長	いろいろな選択肢について10年かけて議論していきたいと思う。
教育長	2) 事務局提案 ①平成23年度南部町当初予算編成に係る教育施策意見書について 別紙資料に基づき提案 作成途中であることをお断りする。意見があればうかがいたい。 1月11日に町長と協議するという日程でよいか。

委員長	日程については良いということで、意見があれば教育長までお願いしたい。
	【11. 協議Ⅱ】 非公開
	【12. 今後の主な予定】
次長	会議案5頁の通り。学校関係は別紙のとおりである。
委員長	【13. 次回教育委員会の開催について】
	次回教育委員会は、
	1)平成23年1月(第1回)定例教育委員会
	<日時>1月27日(木) 午後1時30分～
	<場所>南部町役場天萬庁舎とする。
	【14. 互礼・閉会】 午後4時38分